

2020年3月期第1四半期 決算説明資料

2019年8月9日

田淵電機株式会社（証券コード：6624）

2020年3月期第1四半期 業績の概要

- （電源機器・エネルギーソリューション事業）
パソコンにおいて国内住宅用は蓄電ハイブリッドシステムが順調に拡大し、産業用の需要も復調傾向
- （電源機器・電源デバイス事業）
アミューズメント用アダプタは前期から半減と低調に推移
- （変成器・電源デバイス事業）
ドイツ・国内子会社2社の事業譲渡及び、昨年実施した私的整理（ADR）を受けた一部シェアの低下により、前年度より減収となったが、ほぼ計画通りに推移
- 事業再生ADR手続完了に伴い、固定費の大幅削減を行い損益は改善

10%の減収も、固定費削減の効果により黒字化定着

単位：百万円

	2019年3月期 1Q	2020年3月期 1Q	増減
売上高	5,824	5,275	▲549
営業利益	▲815	180	+995
経常利益	▲697	159	+856
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲743	76	+819

連結セグメント別業績概要

単位：百万円

	2019年3月期 1Q		2020年3月期 1Q		前年度比増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
インバータ (パワーコンディショナ)	1,991	▲858	2,862	137	+871	+996
電源ユニット	1,014		450		▲564	
変成器	2,818	74	1,963	77	▲855	+2
調整額	-	▲31	-	▲34	-	▲3
連結計	5,824	▲815	5,275	180	▲549	+995

*セグメント利益については インバータと電源ユニットを電源機器として開示

電源機器事業

前年同期比 +10.2%

- パワコンは前同比43%増
住宅用蓄電が大幅伸長
小規模産業用の需要回復
- アミューズメント機器向
アダプタは前同比55%減

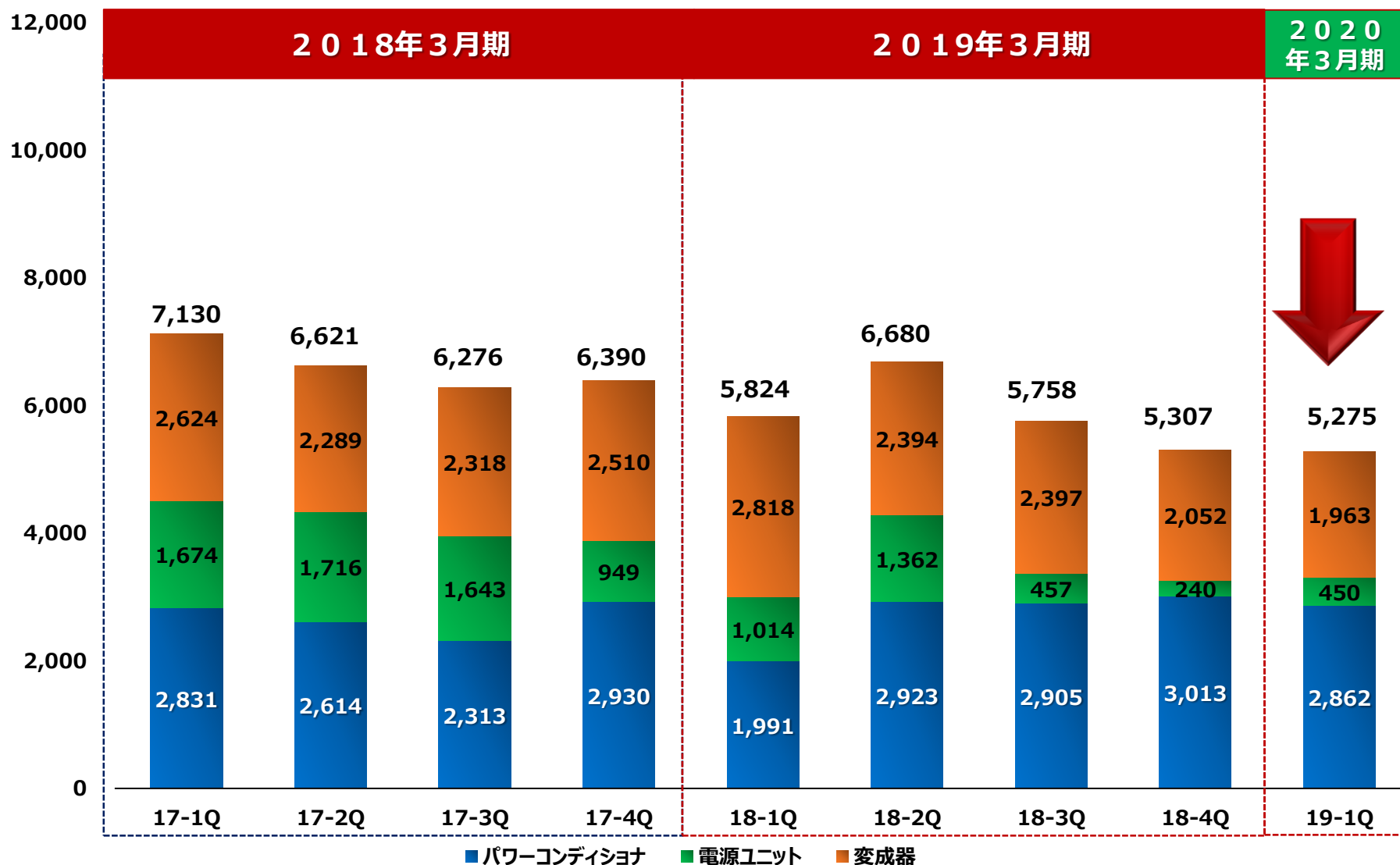
変成器事業

前年同期比 ▲30.4%

- ドイツ・国内の子会社2社
の売却の影響が大きく、売
上高は大きく減少

連結セグメント別売上高四半期推移

単位：百万円

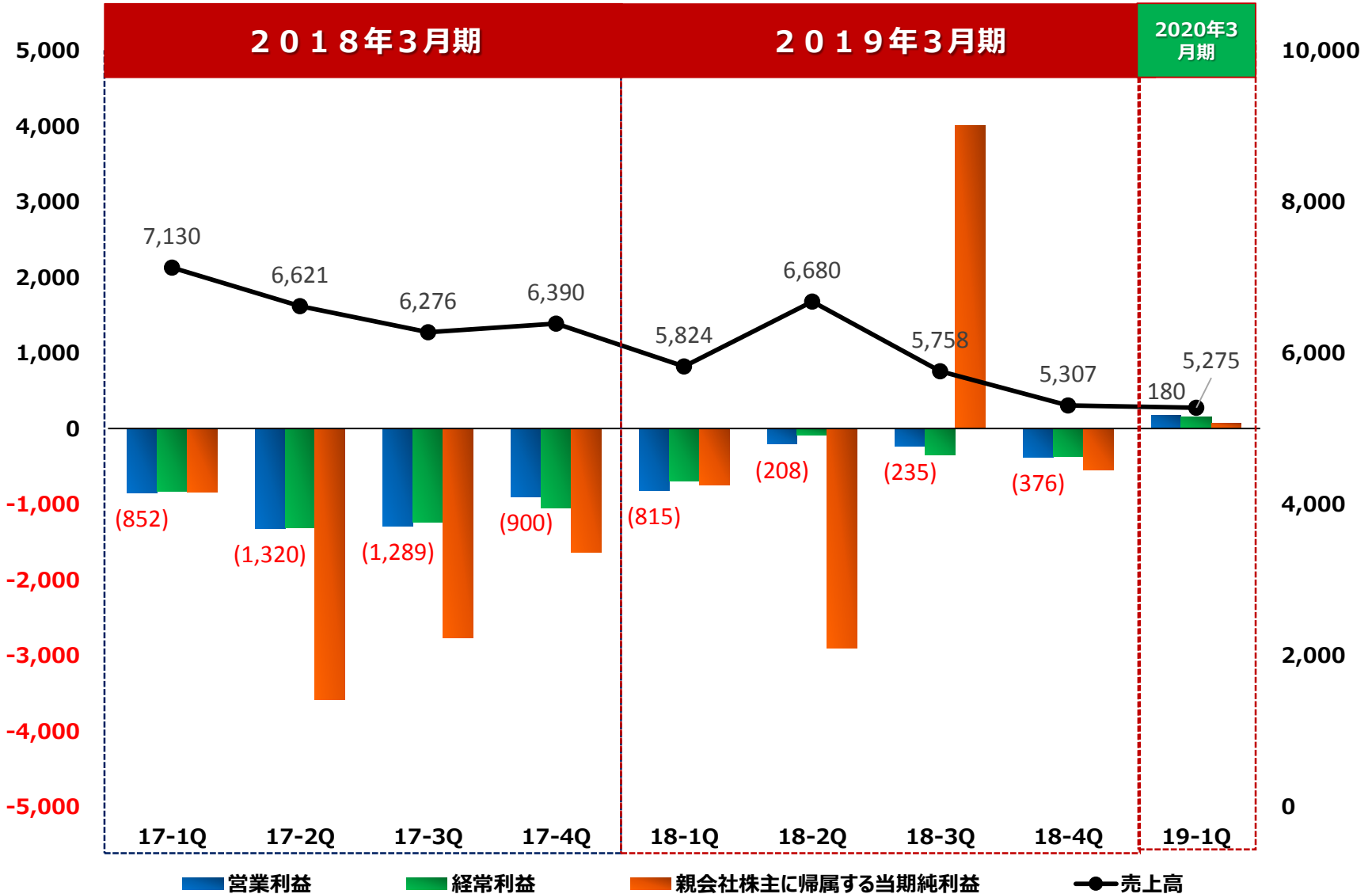


連結業績四半期推移

単位：百万円

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益（棒グラフ）

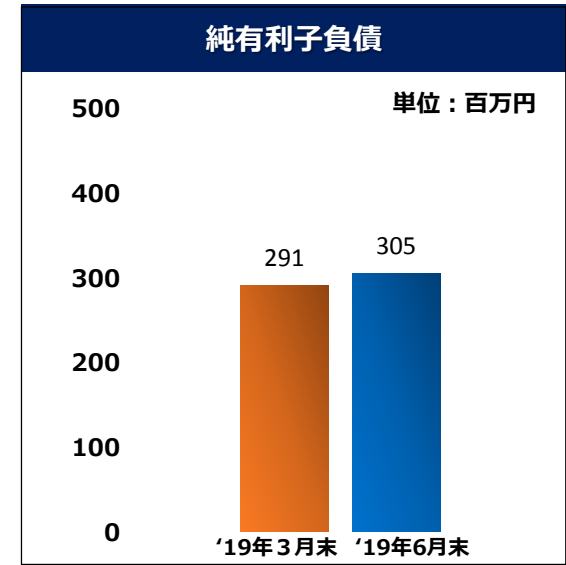
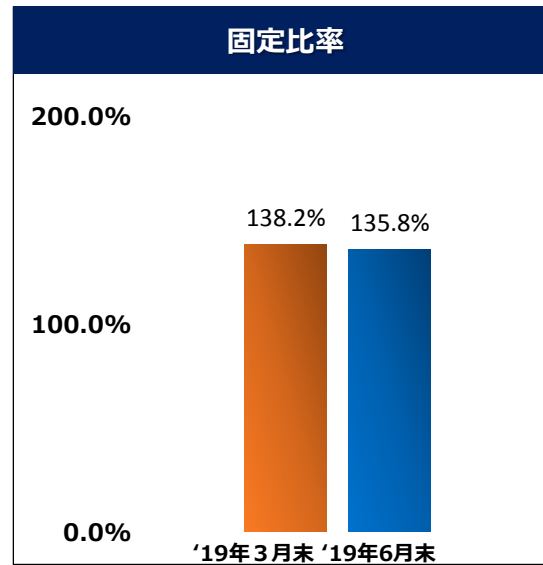
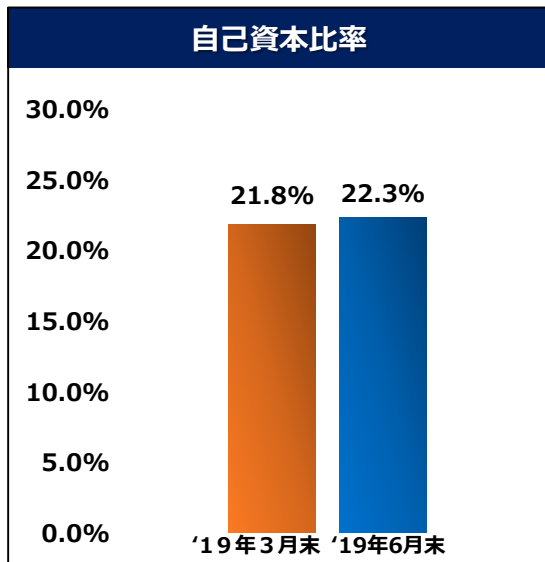
売上高（折線グラフ）



連結貸借対照表概要

単位：百万円

	2019年3月末	2019年6月末		2019年3月末	2019年6月末
現預金	4,573	4,106	仕入債務	2,862	3,256
売上債権	3,641	3,613	短期有利子負債	815	458
棚卸資産	3,785	4,092	その他（流動）	2,394	2,120
その他（流動）	864	719	長期有利子負債	4,049	3,953
固定資産合計	5,563	5,446	その他（固定）	4,281	4,178
			純資産	4,025	4,010
資産計	18,428	17,977	負債・純資産計	18,428	17,977



今期業績について（上方修正）

単位：百万円

	2019年 3月期	2020年3月期 (中間)	2020年3月期	増減（通期）
売上高	23,568	10,000	21,000	▲2,568
営業利益	▲1,634	180	300	+1,934
営業利益率	—	1.8%	1.4%	
経常利益	▲1,497	150	200	+1,697
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲270	▲200	▲200	+70
配当	年間計 0円	中間 0円	通期 0円	

注) 予想の前提となる為替レートは1ドル105円

今期業績の予想

- 売上高、営業利益

- トランス事業はエアコン用リアクタ及びスイッチング電源用高圧トランスを中心に引き続き堅調に推移の見通し
- パワーコンディショナの国内市場では、住宅向けに蓄電ハイブリッドのシステムを拡販 産業向けに関しても需要が回復しており、供給能力の引上を目指す。
- アミューズメント用電源は引続き低調に推移の見込
- 下期に販売開始を予定している新製品の開発費が高むが、引続き固定費削減を維持

TABUCHI ELECTRIC

当資料に記載されている当社又はグループに関する見通し、方針、戦略等は、現時点での入手可能な情報に基づき、合理的と判断した前提のもと予測したものです。実際の業績は今後起こりうる様々な要因によって異なることがあることをご理解下さい。